



50th Anniversary 第5回『サンモリッツ訪問団が来町!』

サンモリッツ訪問団が倶知安町へやってくる!!

サンモリッツから市長を含む6名が倶知安町に来られます。町では、50年を祝う記念式典や、町民交流会などの記念行事を企画しております。

サンモリッツ訪問団の来町予定

■日時／5月27日(火)～29日(木)

■記念行事／

- 歓迎セレモニー：5月27日(火) 15時～(役場庁舎前)
 - 文化体験交流：5月28日(水) 13時30分～(文化福祉センター)
 - 50周年記念式典：5月28日(水) 17時～(第一会館)
 - 歓迎レセプション：5月28日(水) 18時～(第一会館)
- ※その他、町内施設の見学やスキー場周辺見学、学校訪問など、さまざまな場面でサンモリッツ訪問団と町民が触れ合うことのできる機会を設ける予定です。

■サンモリッツ訪問団メンバー／

- ・Sigi Asprion (サンモリッツ市長)
- ・Barbara Stecher (シティ・マネージャー)
- ・Anita Urfer (環境・衛生・社会福祉・教育・文化担当)
- ・Maurizio Pirola (登山電車・消防及び市民セキュリティ担当)
- ・Cristiano Luminati (電気・森林管理・公共輸送担当)
- ・Hans-Rudolf Schaffner (医療・スポーツ全般・産業担当)

※訪問団メンバーは、サンモリッツの代表の方々です。カッコ内はそれぞれの肩書や担当部門です。

8年ぶりにサンモリッツからの訪問団が倶知安町に来ます。今年にはサンモリッツと姉妹都市を結んで50年という記念の年です。この50年の間に、20周年記念展の開催、25周年を記念してサンモリッツからアルプホルンの寄贈、45周年を記念して倶知安町からサンモリッツへ絵画の贈呈など、節目ごとにさまざまな催しや交流をしてきました。今回の訪問では、50年の歴史上初め

て、周年記念式典を行う予定です。サンモリッツ市長ら6名にもご参加いただけます。その他にも、さまざまな記念行事を企画しております。7月には倶知安町から、町長はじめ町民海外研修事業参加の町民の方を含む公式訪問団が、サンモリッツを訪問します。お互いが同じ年に訪問し合うのも初めてのことです。今まで築いてきた絆をさらに深めるため、町全体で取り組んでいきたいと思います。

NEWSあらかると

「町内ニュースをお知らせします」

目指せ未来のオリンピック選手! 倶知安町ミニバイアスロン大会

3月23日(日)、旭ヶ丘において倶知安町ミニバイアスロン大会が開催されました。(一社)日本バイアスロン連盟主催の大会で、過去にはニセコ町で開催されたこともあります。倶知安町では昨年に引き続き2回目の開催です。参加選手は、小学1年生から成人までの男女35名。倶知安町や京極町などの周辺町村に加え、本州からの参加者もいました。

バイアスロンは、クロスカントリーと射撃が合わさった競技で、多くの人にとって体験する機会の少ない競技です。バイアスロンの楽しさを感じてほしい、そして次代のオリンピック選手を発掘したい。この大会にはそのような思いが込められています。

22日(土)には指導教官として、陸上自衛隊冬季戦技教育隊から古谷沙理さん(倶知安町出身)や、ソチオリンピック出場選手が駆けつけ、参加者に射撃の指導をしてくれました。参加者の半数が射撃初挑戦でしたが、誰もが競技を楽しんでいました。この日参加した選手の中から、未来のオリンピック選手が生まれるかもしれません。



春のクリーン作戦

今年もこの季節がやってまいりました。
「春のクリーン作戦」をお願いいたします。

お住いの地域でお声掛けがありましたら、ご協力、ご参加のほど、よろしく申し上げます。

学校や各種団体で実施される場合は、役場環境対策課までご連絡ください。



お問い合わせ
町環境対策課 ☎ 56-8008

【お知らせ】

ニセコひらふ協同組合(サンスポ)でのごみ袋の取り扱いは終了いたしました。

町が大規模停電に襲われたら!?

平成 25 年度 倶知安町防災訓練を実施

10年に1度の暴風雪に見舞われた倶知安町。風雪は収まったものの、突然大規模な停電が発生した。そんな時、私たちはどうすればいいのだろうか。そのような状況を想定し、平成25年度の倶知安町防災訓練が3月21日(金)に実施されました。

訓練では、新しく設置された防災行政無線を活用しました。町内24基の屋外スピーカーに加えて、郊外地区の全世帯や、市街地区の各町内会の代表宅などに置かれた戸別受信機からも音声を流し、情報伝達を行いました。

訓練には町内北西地区の16町内会から185名が参加しました。最初に、防災無線情報を基に町内会ごとに避難所(倶知安中学校)に集合する訓練を実施しました。複数の町内会と障がい者就労支援施設では、車椅子を押しながら避難する共助訓練も同時に行いました。

避難所に集合後は、町内会ごとに要援護者への対応訓練や、毛布やストーブなどの物資供給訓練、飲料水(飲料メーカーによる災害時無償提供品)や保存食品などの食料提供訓練を実施しました。

最後に、北海道消防・防災ヘリコプターによる要救助者の救助訓練が行われました。北陽小学校屋上を雪崩発生現場と想定し、そこから要救助者を俱中のグラウンドまで搬送する訓練を行い、参加者が見学しました。

訓練は約2時間30分で終了しました。参加者の地区

では、「防災行政無線が聞こえづらい」という声が聴かれました。他にも、大規模停電を想定した訓練は初めてということもあり、様々な課題が見つかりました。

豪雪地帯・倶知安町において、暴風雪による停電は起こりうる災害です。一昨年には胆振管内で大規模停電が発生したこともあります。私たちの町で災害が発生したとき、町民一人一人が出来ることは何か。町民の生命と財産を守るために町がやるべきことは何か。今回の訓練によって見つかった課題を一つ一つ解決し、全町的に防災意識を高める一つのきっかけにしていきたいと思います。



1



2



3

1. 防災行政無線では、日本語と英語で情報発信をしました。
2. 訓練には自衛隊も参加。町民が自衛隊から直接物資供給を受ける訓練も実施しました。
3. ヘリコプターでの救助訓練は、雪が降る中で行われました。

倶知安町新規採用職員 町民の皆さま、よろしくお願いします

新年度を迎え、倶知安町も新しい体制になりました。それに伴い、今年度は新規職員を3名採用いたしました。町民の皆さまのお役にたてるよう、精いっぱい職務に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

(写真左から)

伊藤 翔平 民生部住民課住民係

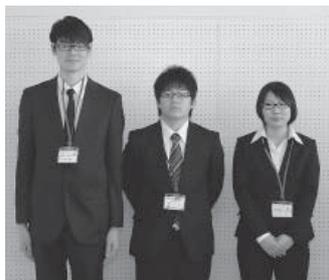
倶知安町で働けることをとても嬉しく思います。まだまだ足りないところもたくさんありますが、1日でも早く仕事に慣れて倶知安町に貢献していきます。

戸嶋 力門 民生部住民課国保医療係

地元で働けることをとても嬉しく思っています。まだまだ分からないことも多いですが、皆さまのお役に立てるよう日々精進していきますので、よろしくお願いいたします。

笠井 里紗 教育委員会社会教育課社会教育係

今年の3月に倶知安高校を卒業し、4月から公民館で働くことになりました。一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



新幹線札幌延伸への大きな一歩 倶知安鉄道建設所開所

平成47年に実現予定の北海道新幹線・札幌延伸に向けて、後志管内の工事を受け持つことになる、独立行政法人「鉄道建設・運輸施設整備支援機構」の倶知安鉄道建設所が4月1日(火)に開設されました。

8日(火)に行われた開所式では、同機構の金山北海道新幹線建設局長が「地域の皆さまから愛される建設所にしたい」とあいさつをしました。建設所の前には、福島町長が書いた「倶知安鉄道建設所」の看板が掲げられました。福島町長も「倶知安鉄道建設所の開所は、倶知安町にとって、とても嬉しいプレゼントです」と話していました。

北海道新幹線は現在、新青森～新函館(仮称)間の2年後の開業を目指して工事が進んでいます。倶知安鉄道建設所は、黒松内町～赤井川村間を管轄しています。新函館～札幌間において、初めて開設された建設所となります。

いよいよ、管内の新幹線工事が動き出します。蘭越町～ニセコ町間の昆布トンネルの工事が年内にも始まります。当面は、工事用道路の整備や住民への説明などの業務に当たります。新幹線駅が倶知安町に出来るまで、まだまだ長い道のりですが、町としても建設所と協力をしながら、共に進めてまいります。

